

[声明]

東京都知事選に立候補表明した宇都宮けんじ氏を支持する声明

2012年11月17日

緑の党東京都本部

石原慎太郎前知事は、国政進出を理由に、無責任にも任期途中で職を辞した。このため、12月16日が都知事選の投開票日となった。この都知事選に日本弁護士会の前会長、宇都宮けんじ氏が立候補を表明した。宇都宮氏は13年間の石原都政で、格段に広がった都民の貧困と格差を憂い、「人にやさしい東京」のスローガンの下、4つの基本政策を掲げ、新しい東京を作るべく決意をされた。

東京を変える4つの基本政策は（①原発のない社会—東京から脱原発を進めます。②誰もが人らしく生きられるまち、東京を作ります。③子どもたちのための教育を再建します。④憲法のいきる東京をめざします。）は都民の願いです。

石原都政のトップダウン方式で、都民の自治が大変損なわれてきました。都民の福祉政策が大幅に後退しているにもかかわらず、新銀行への巨額の資金投入や、大きな浪費となるオリンピック招致活動が積極的に行われ、日の丸・君が代の強制などで教育現場では自由にもものが言えなくなってきました。また、土壌汚染が深刻な豊洲に築地市場を移転することも都民の命と安全を守ることではありません。また、外国人や女性、弱いものへの差別的態度や発言はまさに人権後進国の日本を象徴するものでした。そして尖閣諸島の購入を言い出し、日本と中国の対立を煽ったことは、日中友好に大変な損失を与えました。そして、原発推進は日本の未来を危うくするものです。

宇都宮けんじさんが暗雲垂れこめるこの東京に新風を吹かせ、そして福島と連帯して、東京から脱原発の社会に変換していくことを訴え、起ちあがったことは大きな希望です。

緑の党東京都本部は、宇都宮けんじ氏を支援する全ての人達と連帯し、宇都宮氏の勝利を目指して、全力で闘い抜きます。